

川崎の川や海の様子

- 私たちは毎日の生活でたくさんの水を使っています。トイレ、台所、風呂、洗濯など人の生活によって出される排水を生活排水といいます。
- 1970年ごろ、今よりも下水道が行きわたっておらず、川崎の川は生活排水でとてもよごれていました。
- 下水道が整備されるにつれて川崎の川や海の水質は、きれいになりました。
- 川や海では、きれいな水にすむ生きものも見られるようになりました。

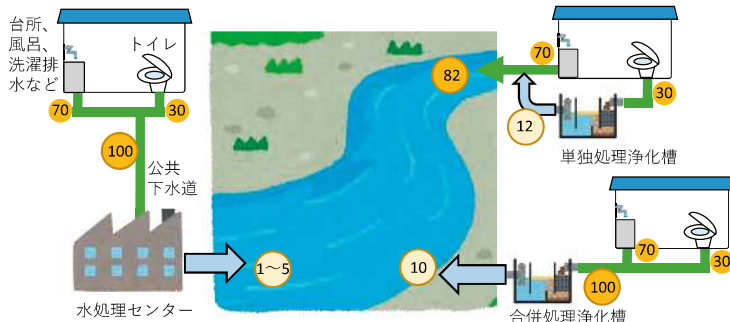
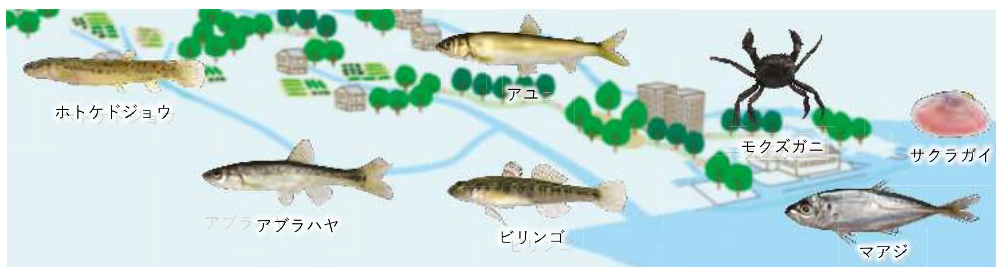


図1 1人1日当たりの生活排水のよごれを100としたときに、川に流れ込むよごれの量



よりよい水環境に向けて

- 水質は改善されてきましたが、今後は多種多様な生きものがすめる水環境が求められています。
- 海ではプラスチックごみなどの新しい問題もあります。
- 川や海のよごれは、工場などの産業排水ではなく、生活排水から多く発生しています。

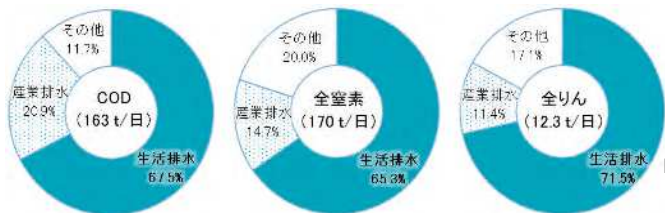


図2 東京湾の汚濁負荷量の内訳 (2014年度)
出典：環境省「発生負荷管理等調査」を参考に作成

• COD(化学的酸素要求量)とは、海水のよごれの度合いを表すもので、水中のよごれ(有機物)が化学的に酸化される時に消費される酸素の量です。全窒素、全りんとは、水中に様々な形で含まれている窒素化合物の全体、りん化合物の全体のことで、窒素、りんが多くなりすぎると、赤潮や青潮の発生につながります。

- よりよい水環境に向けて一人一人の協力が不可欠です。

クイズ

マヨネーズ小さじ半分(2g)を川に流したら、魚がすめる水質(BOD:5mg/L)になるまで薄めるには、300Lの浴槽1.2杯が必要です。次の場合は浴槽何杯分が必要でしょうか?
Q1: カレーライスの残り大さじ1杯(15g)、Q2: 牛乳コップ1杯(180ml)、Q3: 天ぷら油1回分(200ml)
出典：川崎市公害研究所年報 第15号(1988年)を参考に作成 答えは裏表紙→→

• BOD(生物化学的酸素要求量)とは、川の水のよごれの度合いを表すもので、水中の微生物がよごれ(有機物)を食べる時に消費される酸素の量です。

私たちができること

家庭では・・・

- 生活排水は下水道や浄化槽できれいに処理されます。
- 下水道処理区域では下水道につないでください。
- 下水道処理区域以外では、合併処理浄化槽を使い、維持管理をきちんと行ってください。

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ

単独処理浄化槽はトイレ排水だけを処理し、それ以外の生活雑排水はそのまま川などに流れてしまいます。現在設置されている家庭でも、生活雑排水にも対応した環境にやさしい合併処理浄化槽への転換が強く求められています。

- 下水道や浄化槽につないでいても、できるだけ家庭から流す水をきれいにすることが大切です。よごれた水をたくさん流すと、排水管が詰まったり、処理するのにたくさんのエネルギーが必要になったりしてしまいます。

台所で、風呂で、洗濯で 身近にできること

とぎ汁できれいな花をさかせよう

米のとぎ汁は、とてもよい肥料になります。

調理くずは水切り袋でナイスキャッチ

細かいごみの流出を防ぎます。

洗物、油やよごれはふいてから

残さず食べよう

食べ残しが出ないように必要な分だけを作ったり、注文したりしよう。

洗剤、石けん、シャンプーなどは、使い過ぎに注意!

風呂の残り湯で洗濯しよう

洗濯洗剤は必要な量を計って使おう

目分量では多くなりがちです。必要以上に使ってもよごれを落とす力はあまり上がりません。

排水の行先を確認! 下水道や浄化槽につながっていますか?

